

第二回 新しい学校づくりに関する住民説明会

次第

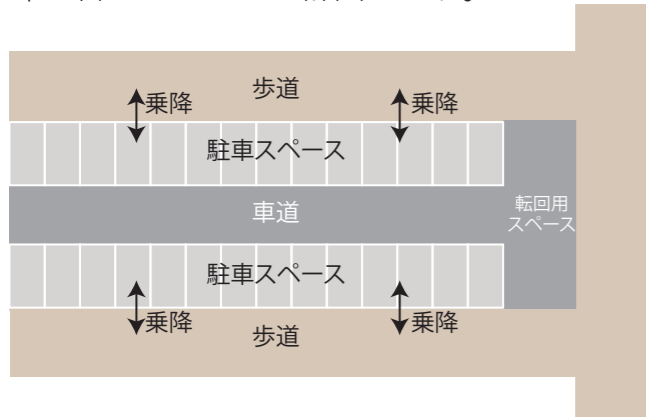
- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 説明事項 新しい学校づくりに向けた基本設計の修正案について
- 4 新しい学校づくりに向けたワークショップによる意見交換について
- 5 閉 会

1. 屋外の計画について

① 駐車場について

来校者用の駐車場について

- ・来校者用の駐車場として、60台のスペースをとりまします。
- ・子どもたちが車路を通ることなく、歩道から直接車に乗り降りできるよう計画します。



- ・尚、乗降所は、車が待機することが多く、子どもたちの通り抜けによる事故が起こる可能性があることから、計画しません。

職員用の駐車場について

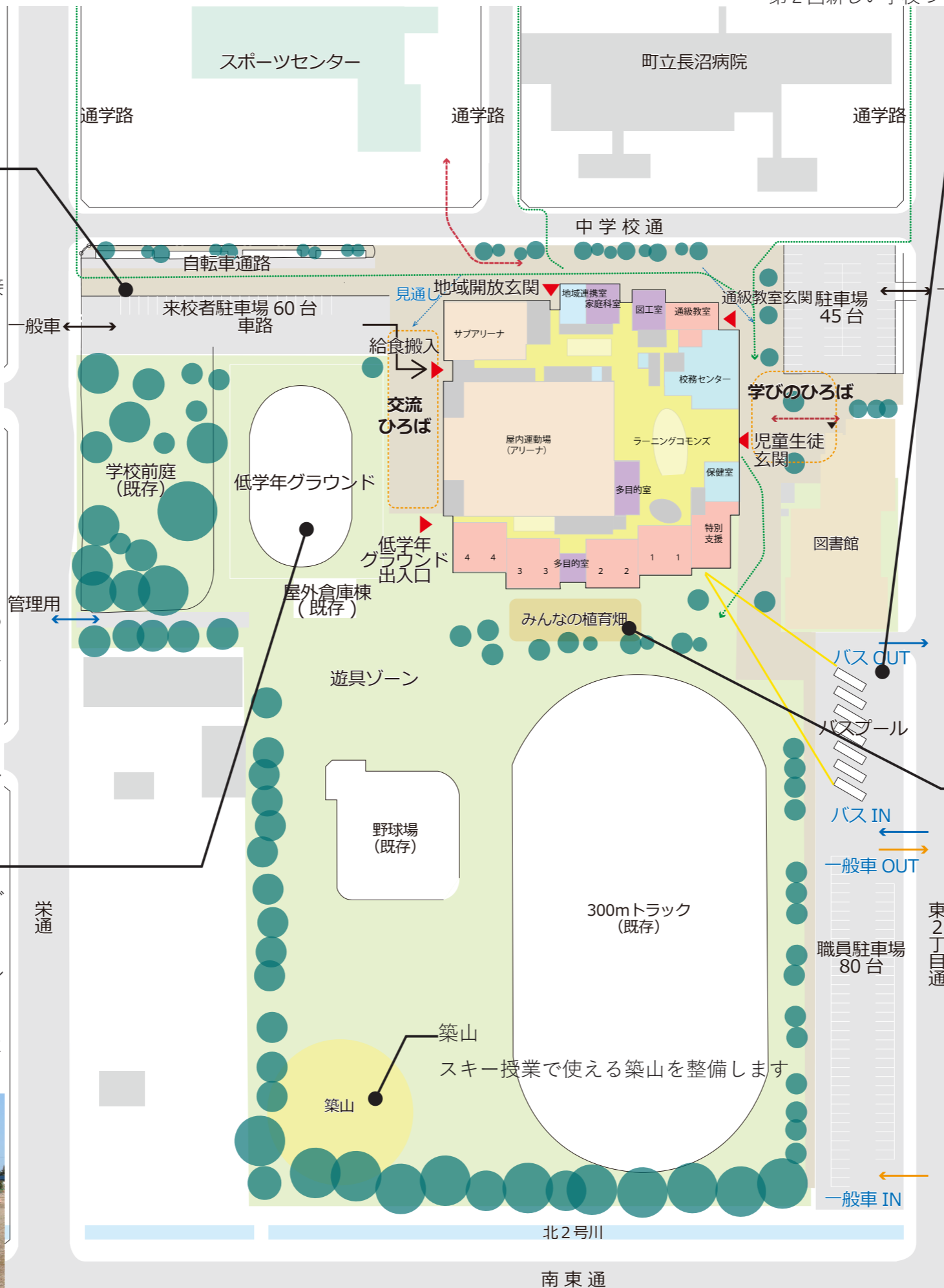
- ・職員用の駐車場として、80台のスペースを計画します。

② 低学年用グラウンド

- ・子どもたちの体の大きさの違いを考え、既存のグラウンドに加え、低学年用グラウンドを整備します。
- ・低学年用グラウンドは、可動式のサッカーゴールなどで運動できるように計画します。
- ・災害時、イベント時は駐車場として利用できるように整備します。



低学年用グラウンドイメージ



③ バスのりばについて

- ・現在とおなじく、7台の中型バスによるスクールバスの運行を行います。
- ・現行のバス乗り場は、1台分のスペースしかないため、自分が乗るバスを待つ必要があり、屋外でバスを待つ時間があります。
- ・新しいバス乗り場は、全車乗場で待機できるようにし、屋外での乗車待ちの時間が生じないようにします。
- ・いつも同じ場所のバスに乗ることができるので、乗り間違えの防止にもつながります。



バス停イメージ

④ みんなの植栽園 (教材園)

- ・低学年の普通教室前に菜園をつくり、先生と生徒、保護者、ときには地域の人も参加しながら共に食物を栽培し、収穫し、食べることを授業の一環として行えるよう整備します。



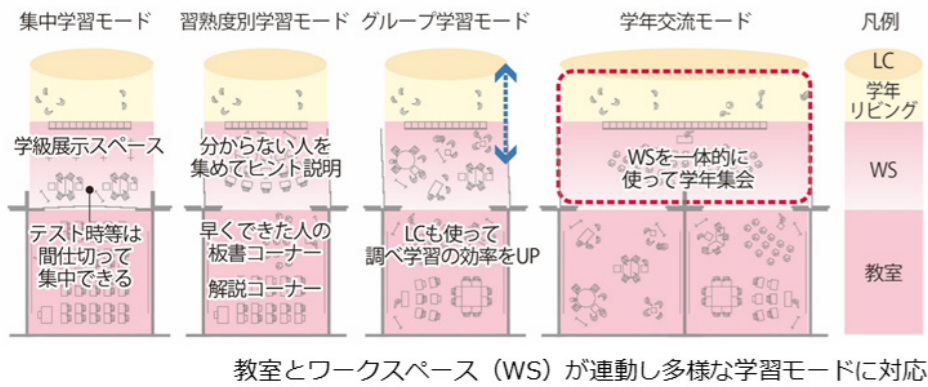
教材園イメージ

2. 校舎の中の計画について

①普通教室について

・新JIS基準の机(W650×D450)が40人入る広さを確保します。
 さらに、ワークスペースや学年リビングなど、教室の外にも学習に利用できるスペースを計画します。

- ★新校舎普通教室 $7.2\text{m} \times 9.5\text{m} = 68.4\text{m}^2$
 - ・長沼小学校普通教室 $9\text{m} \times 7.2\text{m} = 64.8\text{m}^2$
 - ・長沼中学校普通教室 $9\text{m} \times 7.2\text{m} = 64.8\text{m}^2$
- 収納については現教室で不足気味である、とアンケートの意見が複数あったことを受け、可動式家具を活用し必要な収納スペースを確保します。



教室とワークスペースイメージ



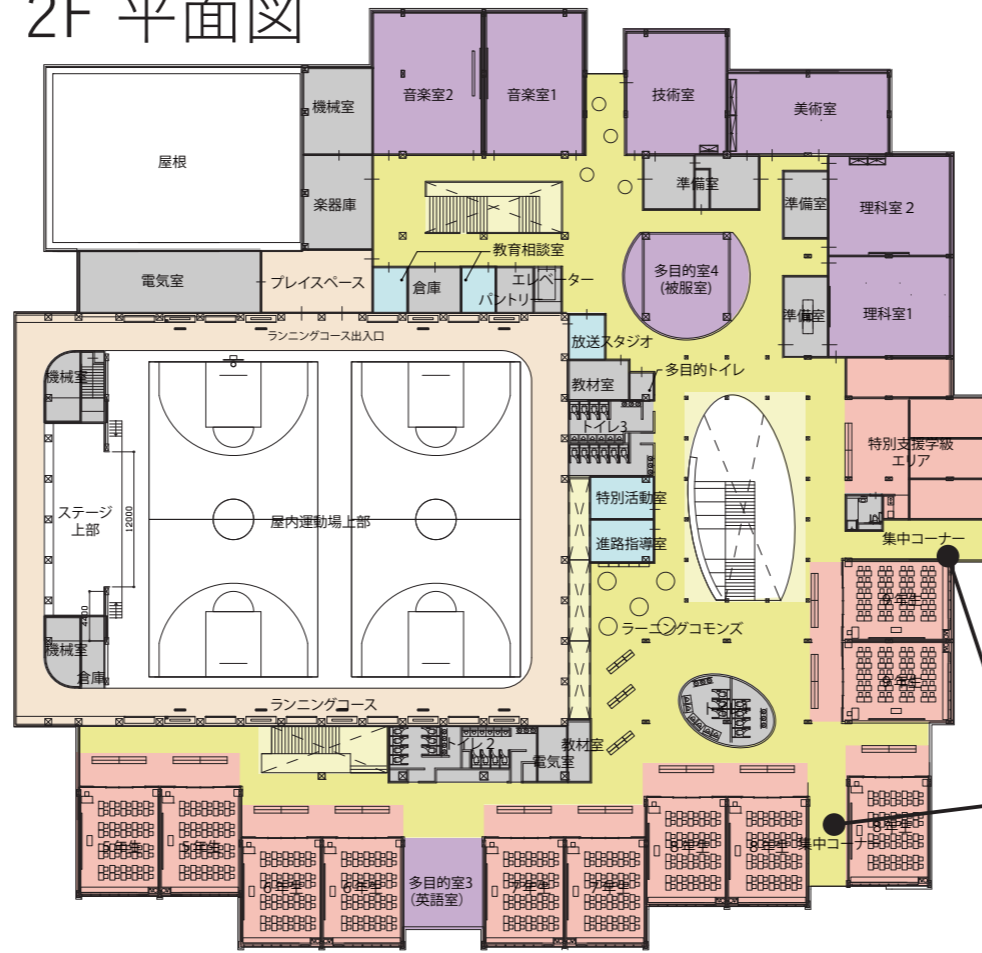
教室イメージ

②屋内運動場（アリーナ）について

・バスケットコートが2面確保できる広さとしします。

- ★新校舎屋内運動場 $35\text{m} \times 40\text{m} = 1,400\text{m}^2$
 - 長沼小学校屋内運動場 $23\text{m} \times 32\text{m} = 736\text{m}^2$
 - 長沼中学校屋内運動場 $24\text{m} \times 30\text{m} = 720\text{m}^2$
 - スポーツセンターアリーナ $30\text{m} \times 40\text{m} = 1,200\text{m}^2$
- ・2階に地域開放利用の可能なランニングコースを計画します。

2F 平面図



③サブアリーナ（武道場）について

・町民会館の集会場の機能を受け継ぎ、同等の広さをもつよう計画します。

- ★新校舎サブアリーナ $16\text{m} \times 22\text{m} = 352\text{m}^2$
- 町民会館集会室 $16\text{m} \times 23\text{m} = 368\text{m}^2$

・仮設ステージ等についても検討していきます。



屋内運動場イメージ



サブアリーナイメージ

④自習スペースについて

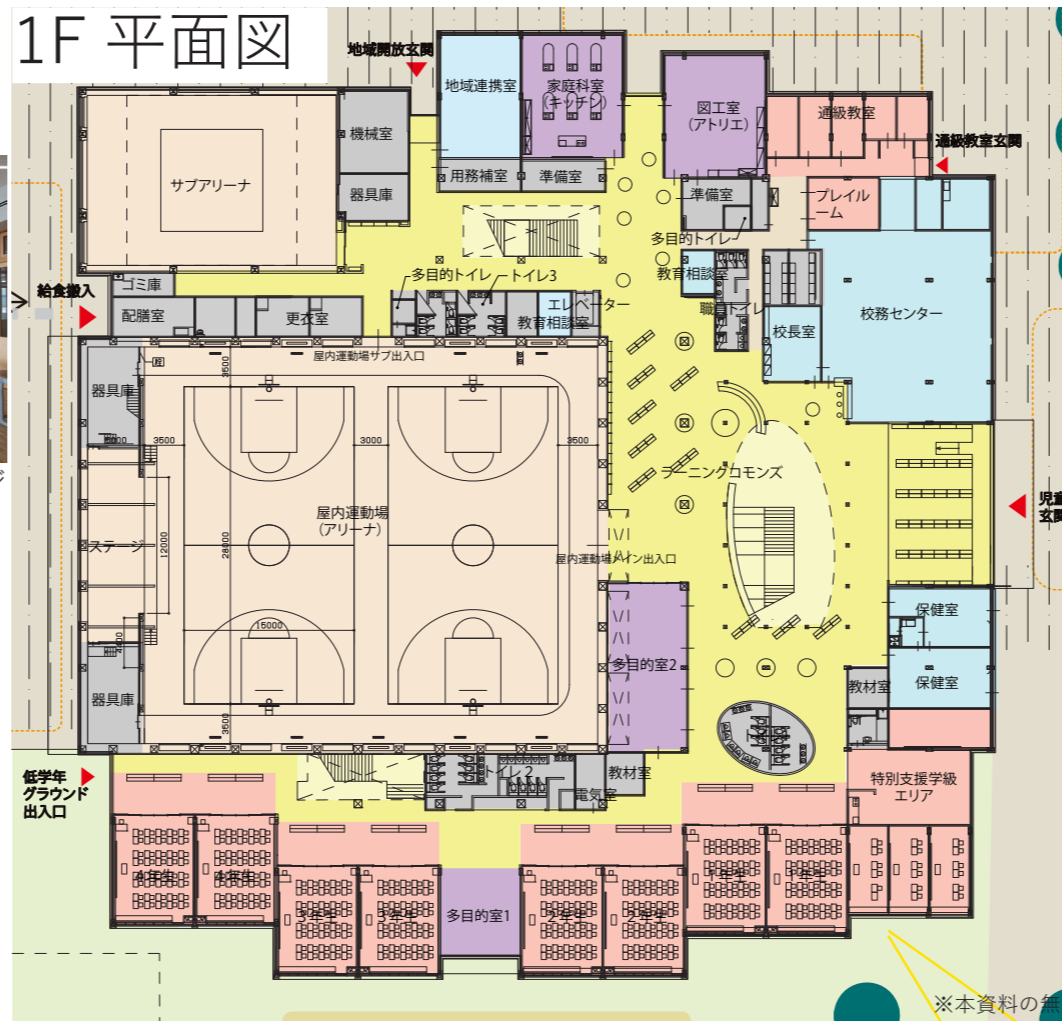
・アンケートでも、自習できるスペースの要望がありました。

本計画では、8、9年生の教室の近くに集中コーナーをつくり、自習できるスペースとして計画しています。



自習スペースイメージ

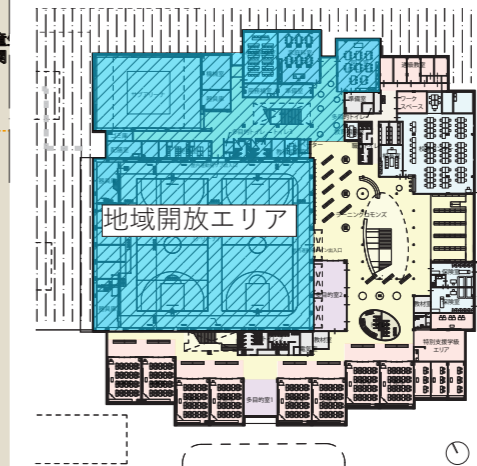
1F 平面図



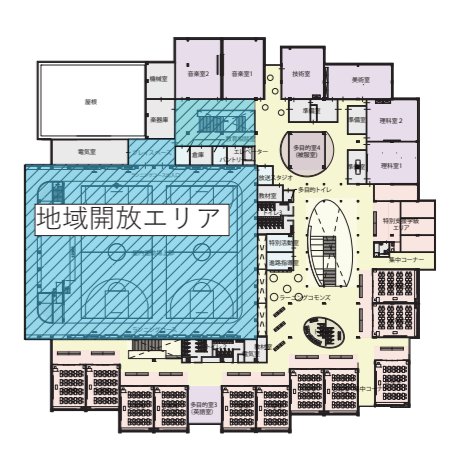
⑤地域開放エリアについて

・アリーナ、サブアリーナ、地域連携室、キッチン、アトリエ、2階ランニングコースを開放できるよう整備します。

1F



2F



※本資料の無断での転載、複製を禁じます。※本資料に記載の内容は、現時点の計画であり変更の可能性があります。

3. 校舎の設備計画について

①冷暖房の計画について

夏の冷房計画

教室やサブアリーナにエアコンを設置し冷房します。

冬の暖房計画

エアコンによる暖房を基本とし、体育館はパネルヒーターによる暖房を行います。

春、秋の計画

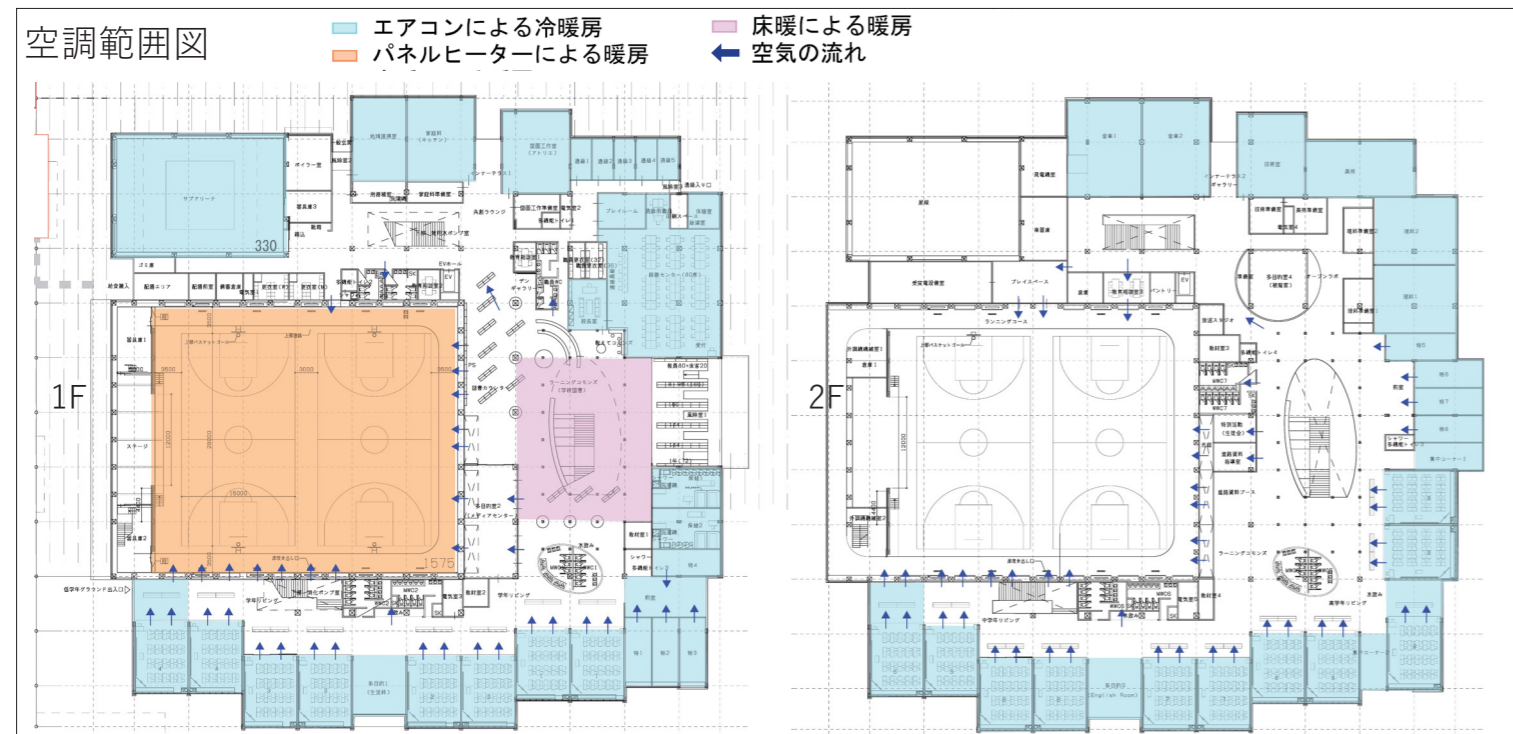
窓による自然換気を行います。

各所のテラスや教室の窓から空気を取り入れ、吹抜けの高窓や体育館の上部の窓から空気を抜く計画とします。

換気の計画

冷暖房の期間や雨の日は機械換気を基本とします。

中間期は、窓を介した自然換気でも、新鮮な空気がいきわたるよう計画します。



②災害時対応の設備計画について

非常用発電設備を整備し、避難所として必要な機能の確保を行います。
バリアフリー化を行い、高齢者の方など避難に対応できるよう計画します。

③環境教育（太陽光発電設備）について

現状では更新サイクルを考慮すると事業費が過大となるため、新築時には整備は見送ります。
ソーラー外灯などの災害時に利用できる設備や、将来的なPPA等の第三者所有による太陽光発電設備導入等を考慮した設計を検討していきます。

④トイレの計画について

【トイレの器具数について】

・空気調和衛生工学会の器具算定方法（シミュレーション）（※）にもとづき、学校のトイレ器具数算定のレベル1（最高ランク）の器具数をクリアし、かつ、既存の長沼小、中のトイレ機器数に近い水準とします。

通常の学校では、レベル2の水準をクリアする計画とするケースが多いことから、レベル1の器具数で十分な個数であると考えますが、アンケート結果で十分な機器数計画への要望が多いことを受け、レベル1クリア+アルファの設置を計画します。

一方、校舎一体化によって利用の効率化を図ることができることから、既存の小学校、中学校の個数の合算より少ない機器数でもトイレの計画には支障がないものと考えています。

※建物の用途ごとに、集中度などを勘案したうえで、人数に応じて適正なトイレの器具数を算定するシミュレーションです。レベル2が待ち時間が標準的な器具数で、レベル1がゆとりのある器具数となります。

トイレ器具の計画数

	男子トイレ		女子トイレ	多機能トイレ
	小便器	大便器	大便器	
長沼義務教育学校（2023年11月時点）	33	22	33	5(内、特支2)
空気調和衛生工学会基準レベル1	28	18	29	-
空気調和衛生工学会基準レベル2	22	15	23	-
長沼小・中学校合算	38	26	37	0

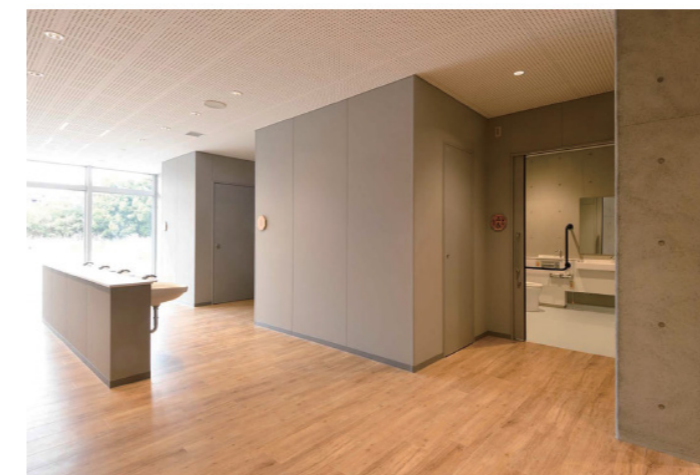
【性的多様性に配慮したトイレの計画について】

- ・性別にかかわらず利用できるトイレを計画する
- ・トイレの配置を分散し、人目につきにくい位置にも計画する、といった配慮が必要であると考えています。

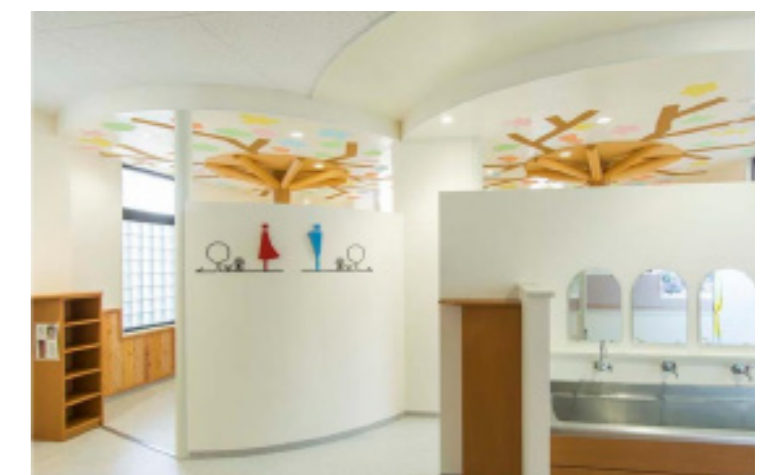
今回の計画においても

- ・性別にかかわらず利用できる多機能トイレを、各階+地位開放エリアの計3か所計画する。（特別支援教室用を含めると5か所）
- ・地域開放エリア側や特別教室側など、複数のエリアにトイレを分散して計画する。

という方針を計画中です。



多目的トイレ入り口に前室を設け、人目につきにくくした事例



出入口前に水場を設け、視線を遮っている事例

※本資料の無断での転載、複製を禁じます。※本資料に記載の内容は、現状の計画であり、今後変更の可能性あります。